

# 「作業療法」の基本理念1

「人は作業を通して健康や幸福になる」

作業療法は、人々の健康と幸福を促進する為の治療、指導、援助である。

子どもにとっての作業とは？

子どもにとっての健康と幸福な生活とは？

子どもの1日を考えてみましょう。

朝起きてから、園や学校に行き、着替えたりご飯を食べたりします。

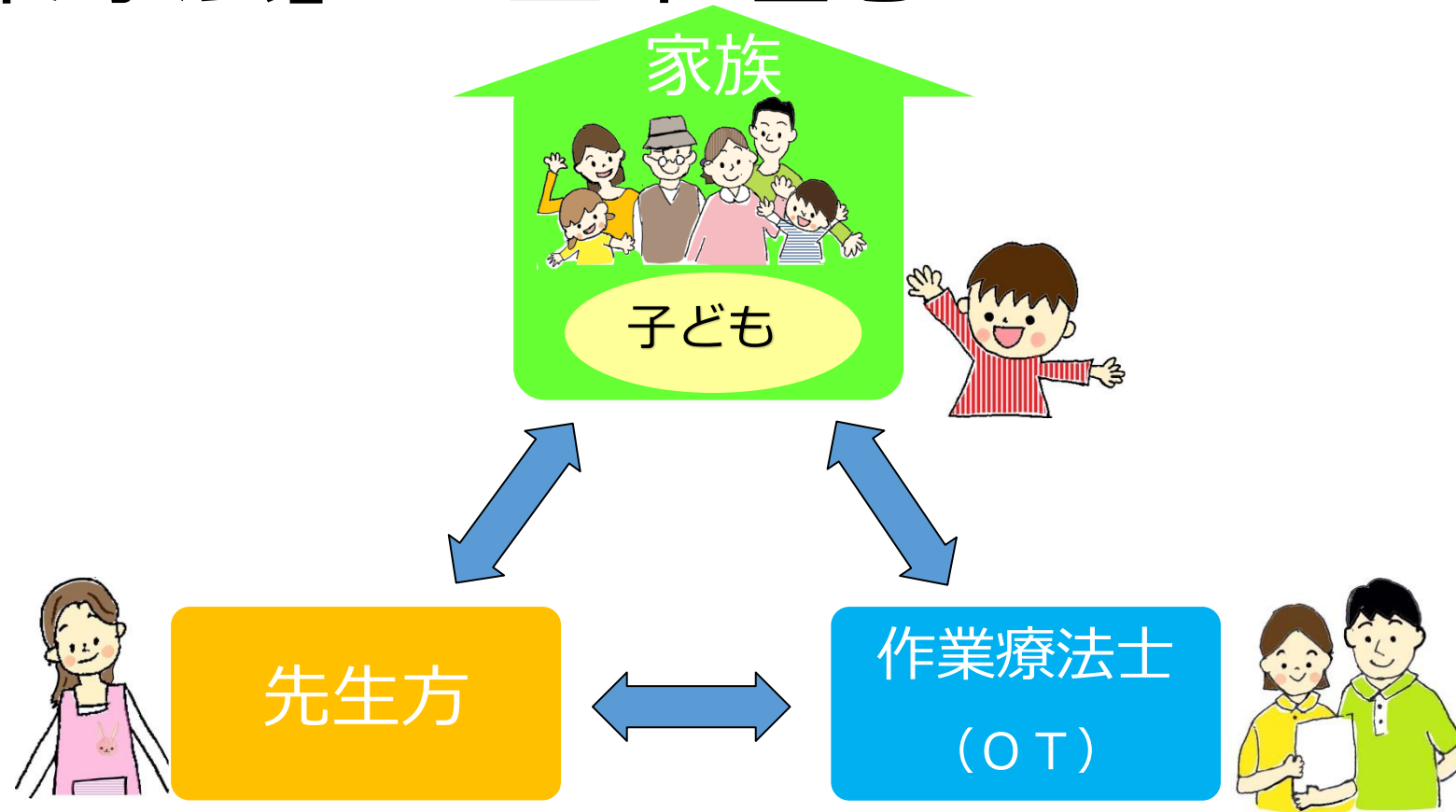
お友達とたくさん遊び、お勉強もします。

身の回りの動作(食事、着替え、排泄等)、遊び、学習などが楽しく出来ることこそ、子どもにとっての健康と幸福な生活なのではないでしょうか。

作業療法では、子ども達が健康で幸福な生活が出来るよう、支援していきます。

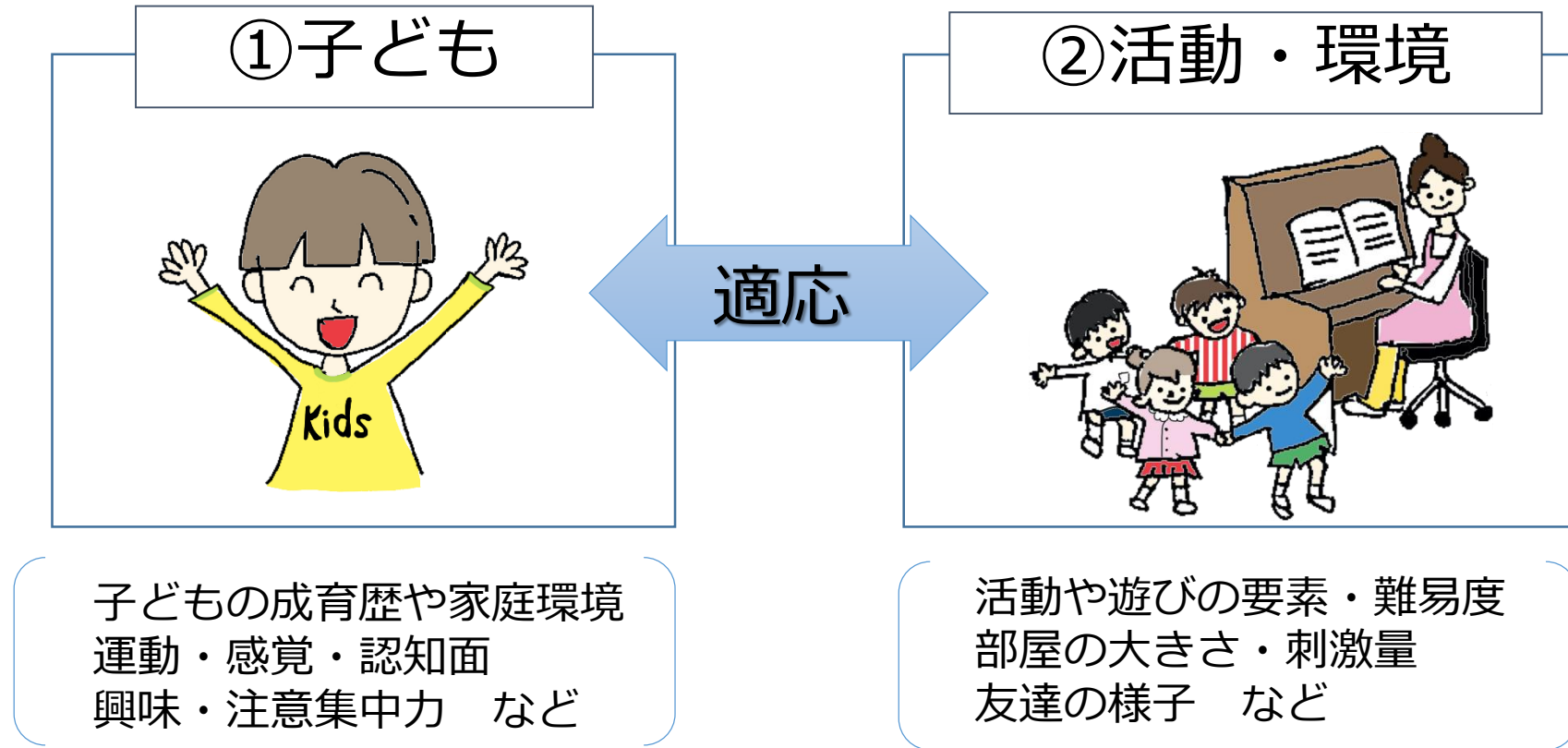


# 「作業療法」の基本理念2



子どもが健康で幸福な生活を送る為には、子どもと関わる人(主に家族や先生方)も健康で幸福に過ごさせていることが重要です。作業療法士は、子どもへの支援だけでなく、保護者や先生方と一緒に考えていくこと＝「協働」を目指しています。

# 作業療法士の見方 1



子どもが楽しく生活するには活動・環境と適応することが必要です。  
作業療法士は、①子どもの分析に加え、②活動や環境の分析を行ない、より良い適応反応を導き出すための支援のポイントを探しています。

# 作業療法士の見方 2

～椅子に座って話を聞く為に必要なこと～



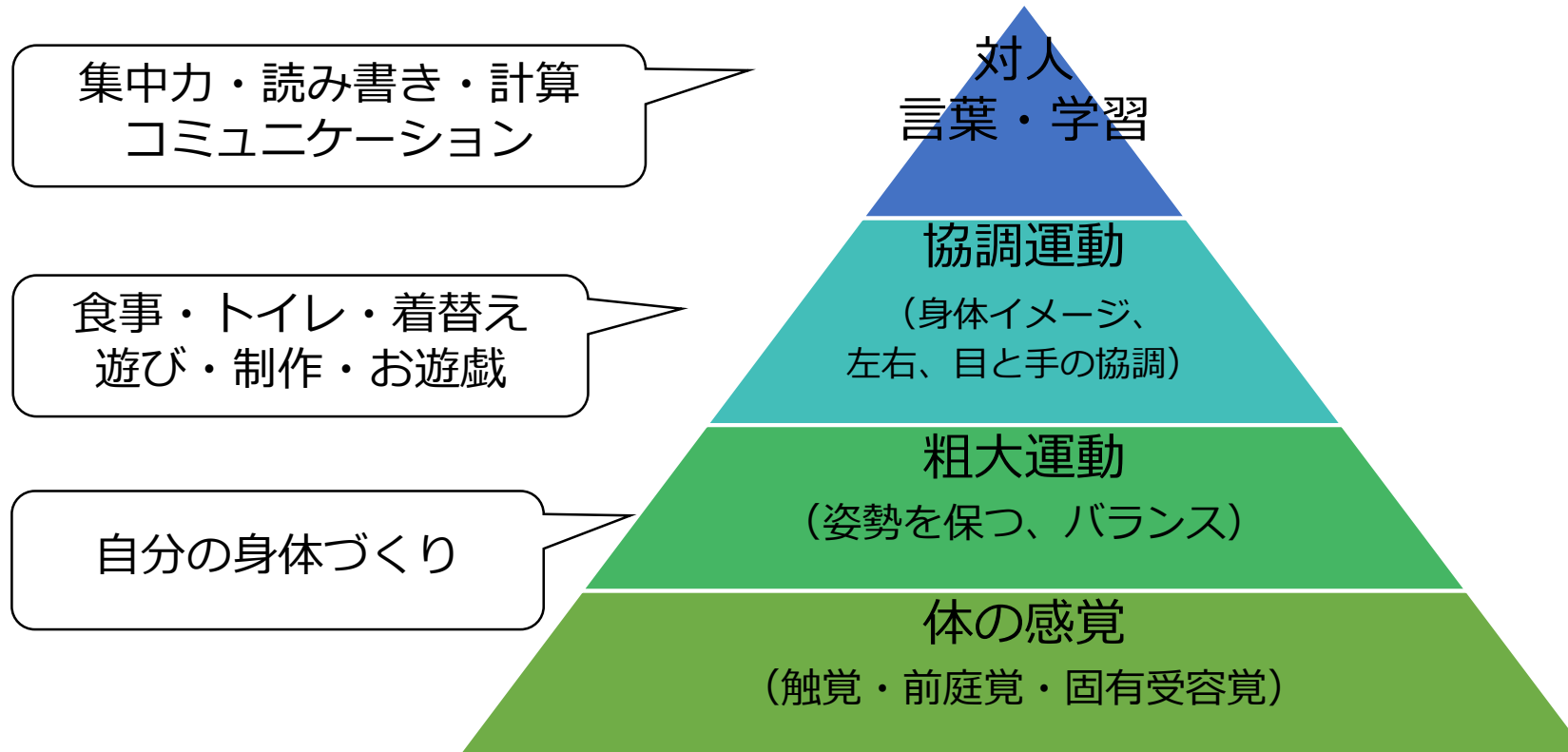
姿勢は保てているかな？  
話をしている人を見ているかな？  
話をきちんと聞いているかな？  
やる気はあるかな？  
内容を理解しているかな？  
椅子のサイズは合っているかな？  
周りうるさくないかな？ など

園や学校で当たり前のように求められること、それは「椅子に座って話を聞く」ということです。簡単なことのように思いますが、座って活動する為には、同時にたくさんの情報を処理する必要があります。

「うまく出来ない」には必ず理由があります！

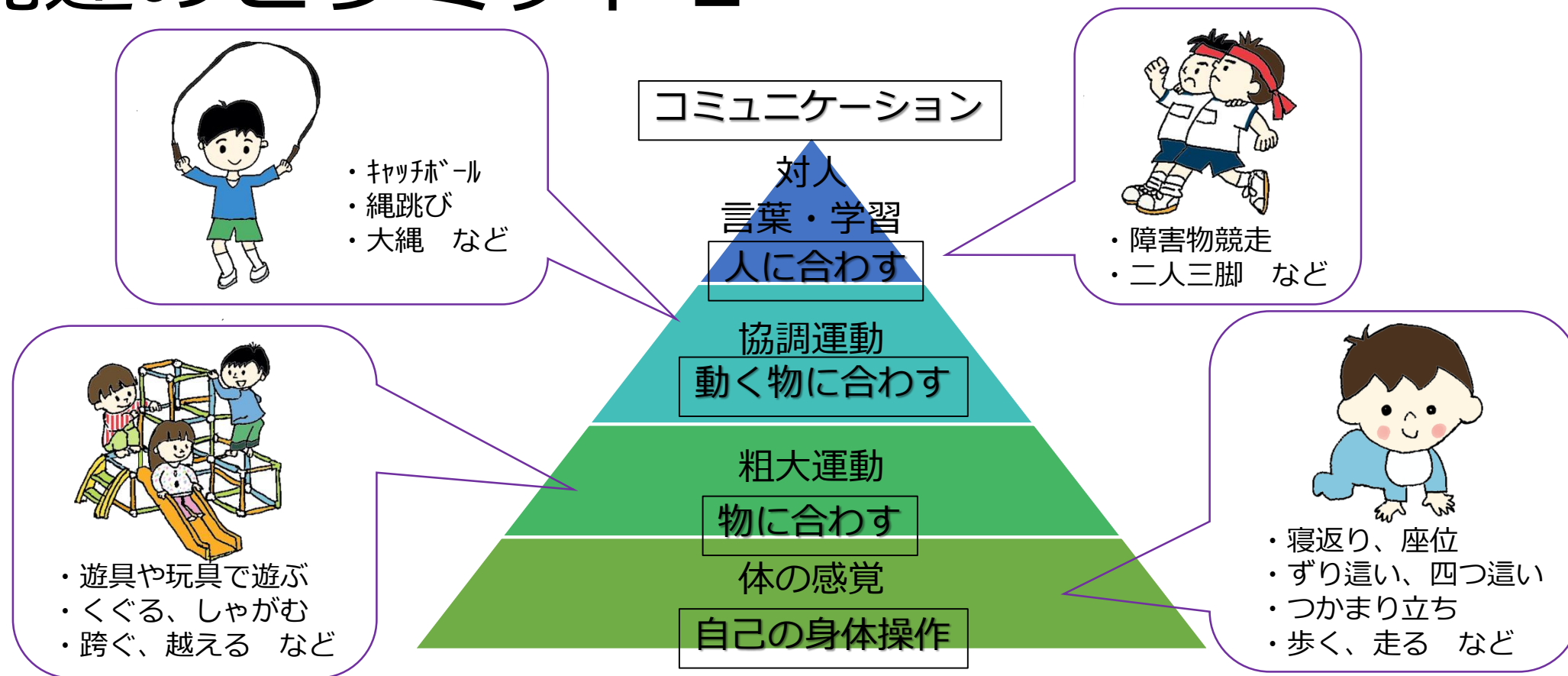
作業療法士は、子どもが活動する時に、どこで躓いているのか、何に困っているのか等を分析し、必要な支援や環境設定を行っていきます。

# 発達のパラミッド 1



これは子どもの発達をパラミッド型に表したものです。実際に子どもの困り感として出てきやすい内容は、パラミッドの上部(コミュニケーション面、学習面、協調運動など)であることが多いです。しかし、これらを育てる為には、まずパラミッドの土台となる下部(感覚面、姿勢面など)の育ちが大切になってきます。

# 発達のパラミッド2



例えば、コミュニケーションの発達で考えてみましょう。友達の動きに合わせてたり、スムーズな会話をするのは最終段階です。その為には、まず自分の身体を知り(自己の身体操作)、遊具や玩具で工夫して遊べ(物に合わす力)、ボールや縄の動き等に合わせ遊ぶこと(動く物に合わす力)が必要となります。子どもの発達段階がどこにあるかを考え、遊びの段階付けをすることが、子どもの成長に繋がります。

# 子どもの育ちの為に… 1



子どもは、主体的に「やってみよう」という気持ちで、試行錯誤しながらチャレンジをし、成功した時に最も成長すると言われていています。また、このサイクルを繰り返すことで、成功体験を重ね、自信にも繋がっていくと考えています。

# 子どもの育ちの為に… 2

「楽しい活動」

「ちょうど良いチャレンジとなる活動」

「成功したときの達成感」



子どもは十人十色。子ども一人一人にとって好きな遊びは様々です。子どもが「やってみよう」と思うためには、上の3つが大切です。大人が「〇〇をさせたい」「△△は楽しいはず」と思っても、子どもにとって「楽しくない」と思えば、チャレンジにはつながりません。私達大人も苦手な事や難しすぎる仕事はしたくないですね。

作業療法士は、子ども達が楽しみながら成功体験を味わい、成長出来ることを考えていきます。